

プレゼンテーションのための 非言語表現

日 時

平成 29 年 9 月 29 日 金
17:30 ~ 19:00

会 場

北海道大学 学術交流会館
小講堂(北8西5)

参加費

無 料

申込フォーム

※ 携帯電話等、メールの拒否設定をされている場合は、送信前にドメイン名 cris.hokudai.ac.jp の指定受信設定をお願い致します。

<https://www.cris.hokudai.ac.jp/cris/rso/skillup/>

自分の研究について他者に語りかける時、美しいパワーポイントをつくることと同じように、いかに楽しく魅力的であるかを表情や身振りで表現することも重要です。講義や講演などのプレゼンテーションで、より聴衆を魅了するためには、どのように語りかけると良いのでしょうか。

本セミナーでは人形美術家、演出家、演技者としてプラハを拠点に世界で活躍する一方、ヨーロッパやアメリカの大学においても教鞭をとられている沢 則行 氏を講師として迎え、影絵、砂絵などの映像表現、目線、姿勢、身振り手振りなどの身体表現、舞台芸術・演出などあらゆる非言語表現についてお話ししていただきます。多くの観客の前で演じる人達が身につけているテクニックから伝えたいことを効果的に伝えるためのスキルを学びます。

沢 則行 (さわ のりゆき) 氏

人形劇師・演出家/国際人形劇連盟 (UNIMA) 会員

小樽市出身。1991年に渡仏。1992年に文化庁在外研修生で、チェコへ。プラハを拠点に世界各国で公演。また、チェコ国立芸術アカデミー演劇・人形劇学部、米国スタンフォード大学演劇学科、シカゴ大学、ロンドン人形劇学校など、多くの教育の現場で講座、ワークショップを指導した経験を持つ。1999年、ヨーロッパ文化賞「フランツ・カフカ・メダル」授与。2009年、セルビア・スポティツァ国際児童演劇祭で演技賞、音楽賞をダブル受賞。2011年にはポーランド・カトヴィツェ市より EU 文化都市賞が贈られるなど、国際的受賞多数。NHK『ようこそ先輩・課外授業』出演 (2006年)、『みんなのうた』映像制作 (2009年)、第66回さっぽろ雪まつり巨大人形オペラ「雪の国のアリス」芸術監督 (2015年) など。



第15回 創成シンポジウムのご案内

大地に眠る物語を読む

考古学者と人形劇師

5世紀頃、サハリン(樺太)から北海道、オホーツク海沿岸に渡ってきて独自の文化を発展させたオホーツク文化人。その遺跡からは、セイウチなどの牙を素材にした女性像が10体ほど見つかっています。この女性像は誰なのか、そしてなぜ作られたのか。考古学者と人形劇師がそれぞれに、この人形に託された過去からのメッセージを読み解き、物語を紡ぎ出します。考古学者と人形劇師の共演をご覧ください。

■ 申し込みフォーム

<https://ws.formzu.net/fgen/S55214655/>

日時: 平成 29 年 9 月 30 日 (土) 16:00 ~ 18:00 (15:30 開場)

会場: 北海道大学 学術交流会館 講堂 (北8西5)

出演者: 沢 則行氏、加藤 博文氏 (アイヌ・先住民研究センター)、岡田 真弓氏 (創成研究機構)

